

令和7年度実施 「元気創造まちづくり事業」

資料 1 - 1

	団体名	事業名	補助額	事業概要
1	美里プロジェクト	みさと喫茶	200,000	地域の高齢者や子どもの居場所づくりや高齢者の生きがいづくりを目的に毎月1回「みさと喫茶」を実施しています。野菜などの栽培や販売などを行っています。

令和7年度実施 「協働事業提案制度（連携支援型）」

	団体名	事業名	協働担当課	事業概要
1	PoCo Harmony	親子カフェ	子育て支援課	地域における夫婦共働き家庭の増加や孤立感を抱える母親の課題に対応する目的で企画された子育て支援事業 子育て世代が共に育てた野菜を素材とした「食事の提供」により食育と農業への理解を深め、「レクリエーション企画」では子どもと保護者が参加できる楽しい活動を通じて、地域のコミュニケーションを促進する。子育て中の保護者が、気軽に集い子育てについて悩みを相談したり、お互いにアドバイスをしたりする交流の場をつくることで、地域の子育て世代が共に成長し合い、健康で幸せな子育て環境を築くための支援体制を整備する。

令和7年度実施「未来へつなぐ市民活動応援事業」						資料1－2
	団体名	令和6年度の寄附実績	前年度の寄附実績 に応じた補助上限 額（目標補助額）	過去の積み立て	今年度の補助 上限額	事業概要
1	子育てサロンCoCo愛 （令和2年度登録 令和4年度更新 活動5年目）	247,000円（4件） 市内2件 市外2件	189,500円 （200,000円）		189,500円	○子育てサロン　●毎週木曜日、10時から16時（コロナ感染予防の消毒の為当分の間15時30分とする）・利用料として100円必要 ○ランチとカフェの提供（材料費として400円必要） ○毎月第2木曜日、ニコニコクラブによる絵本の読み聞かせ 乳幼児期から絵本に親しむことは大事なことである。ママのお膝で安心して聞かせてもらうことで情緒の安定につながる。 ○フリートークや講師による育児講座 育児中のママ同士が自由に子育ての経験を話すことで、不安や悩みを共有し、子育ての振り返りができる。時には講師から専門的な話を聴き子育てに自信が持てるようする。 ○ファミリーの集い（お楽しみ会年2回） 父親の参画や平日ここあを利用できない親子が参加し易いように土日に事業を実施し、共に子どもの成長を喜び合い、健やかな子どもを育成することを目的にする。 ○食育の観点や趣味的な講座の開催（恵方巻・リースやアレンジフラワー等） 季節の野菜を使っでの食事の提供、体験で一緒に作ることで実家に帰ってきた安心感を味わってもらう。趣味的な講座では、自分のできることを増やし、心豊かな感性を育ててほしい。そして、心に余裕をもって子育てしてほしい。 古民家の良さを活かし、親子でホッとできるくつろげる場を作るように環境を整える。
2	栗東生活支援協議会 （令和2年度登録 令和4年度更新 活動5年目）	2,074,000円（11件） 市内6件 市外5件	1,577,000円 （4,000,000円）		1,577,000円	①緊急食料バンク事業　緊急時における食材等の確保や提供がより円滑に実施できるよう、継続して取り組みを進めます。 ・自立相談支援、フードバンク等関係機関と連携し、食糧支援を入口として必要な支援につなげます。 ・市内の店舗や公共機関と連携し、フードドライブ、フードパントリーの仕組みを構築していきます。 ②活動資金助成事業　篤志（(団体)による支援活動がより充実・発展するよう、継続して取り組みを進めます。 ・社会福祉協議会と連携し、子ども食堂等の継続支援と新規立ち上げを応援します。 ・関係機関と連携し生活困窮世帯や不登校の子どもやひきこもり状態にある方等についてフリースペースや子ども食堂を活用した居場所づくりに努めます。 【R6年度以降の追加事業】 ・少額緊急つなぎ資金貸与事業　生活福祉資金等貸付事業の対象外事案かつ緊急的な事象に対し、少額の貸与をおこないます。 ・ヤングケアラーやひきこもり状態にある人への支援事業 市民への啓発として、講演会もしくはフォーラムの開催、また当事者やその家族、支援者向けの教室や居場所づくり、または助成をおこないます。 ・女性の貧困対策事業　コロナ禍等により女性の貧困がクローズアップされており、その支援のために女性の居場所や相談の機会を設けます。 ・就労体験事業等　本会会員企業と連携し、青少年の就労体験を実施し地元での就職につなげるとともに、住み慣れた地域で安定した生活ができるよう支援します。
3	栗東演劇祭実行委員会 （令和2年度登録 令和4年度更新 活動5年目）	0円（0件） 市内0件 市外0件	0円 （200,000円）		0円	<主旨>～演劇がつなぐ人とひと～をテーマに、演劇文化を誰もが楽しみ、気軽に参加でき、より身近なものとして感じてもらうことを目指します。 また、文化と歴史のまち栗東を、演劇を通じて発信し、その認知を少しずつであっても高め、広げていきます。そのことが微力ながらまちの活性化に繋がり、郷土愛を育み、そこに住む人々の心の糧となるよう事業を実施します。演劇を通じたコミュニティの形成は、普段の活動はもとより、災害時等でも育んだ人のつながりが強いまちづくりにつながると考えます。併せてコロナ対策にもしっかり取り組みます。 1) りっとう演劇祭2024 Vol.30、りっとう演劇祭2025 Vol.31、りっとう演劇祭2026 Vol.32の開催（予定） 2024年は3月頃から出演団体を募集。5回～6回の実行委員会を経て本番を迎えます。場所日程は以下 ・日程：2024年7月頃(Vol.30) 2025年7月頃(vol.31) 2026年7月頃(vol.32) ・場所：栗東芸術文化会館さくら 中ホール　・出演：7～8団体を予定 2) SNS等により、活動の発信。　・上記演劇祭の活動を、ホームページ、SNS等にて発信します。 3) 市内活動（まつり、イベント）への積極的な協力。　・市内情報を注視しながら参加。関わりを広げる活動をします。 4) 老人クラブ、ホーム等からの依頼に対応し、出前公演の実施　・市内保育園、施設等よりの依頼要望に積極的に対応します。

令和7年度実施「未来へつなぐ市民活動応援事業」						
	団体名	令和6年度の寄附実績	前年度の寄附実績 に応じた補助上限 額（目標補助額）	過去の積み立て	今年度の補助 上限額	事業概要
4	シニア子育てサロン ぽっけ （令和4年度登録 活動3年目）	68,000円（2件） 市内0件 市外2件	34,000円 （200,000円）		34,000円	1．一時預かり保育 ・毎週水曜午前9時～正午迄、及び毎週金曜午前9時～午後4時迄、生後6ヶ月～3歳児を対象に500円／時間でお預りします。 2．親子サロン ・毎週水曜午前9時～正午迄、及び毎週金曜午前9時～午後4時迄、親子で遊べる場を無料提供し、スタッフとおしゃべりしたり、ママ同士で交流したり、ほっとする時間を過ごしていただきます。 3．ママサークル（Fun Fan Harmony）とのコラボ事業 ①「このゆびとまれ」の開催 年18回（月曜）、ぽっけの部屋を市民に開放し、色々な人と交流できる居場所にします。 ②「運動しようの会」への参加 年18回（木曜）、体育館で若い保護者と一緒に軽い運動をします。 ③ママサークル単独イベント時の託児協力 ママがイベント参加中、ぽっけが幼児をお預りします。 4．「栗東市の子育て支援を考える会」への参画 ・栗東市の子育て支援をより充実させる為に、行政（社会福祉課、地域子育て支援センター、健康増進課）と、民間団体（くまのみひろば、CoCo愛、Fun Fan Harmony、ぽっけ）とで毎月1回協議を重ねています。子育てママの為に少しでもお役に立てるサービスやサポート体制を構築したいと考えています。 5．オレンジリボン運動（児童虐待防止）への参加 ・毎年10月「びわ湖一周オレンジリボンたすきリレー」に参加し、児童虐待防止を呼びかけます。
5	びわ湖ブラインド コーラス隊 （令和5年度登録 活動2年目）	0円（0件） 市内0件 市外0件	0円 （150,000円）		0円	・月1回の定期練習会のほか、令和5年6月より第2日曜日午後の講師のグループ練習会にも参加し、その他のグループの発表会にも出演できるようになりました。 ・持ち歌「誇りの町」の作曲家である京都市在住の音楽家のコーラスグループと合同練習会に参加させていただき、京都市の音楽会にも参加したいです。 ・隔月に「やすらぎの家」「ひだまりの家」「ゆうあいの家」を訪問し演奏会をしていきたいです。 ・そのほか、栗東市内で活躍されているコーラスグループとの交流も計っていこうと思っています。 ・コーラス活動の拡大→晴眼者・視覚障がい者の交流の強化を考えています。 栗東市では120名以上の視覚障がい者がいます。現在10名の会員数を男女の構成割合を考えながら混声コーラスや男声、女声単独でコーラスできるまで会員を増やします。
6	手原SL同好会 （令和6年度登録 活動1年目）	96,000円（3件） 市内0件 市外3件	48,000円 （170,000円）		48,000円	①毎月第3日曜日の午前中、SLの静態保存維持のための補修作業を実施。同日、SL公園内敷地の雑草・異物等の除去、清掃活動を実施し、環境美化に努める。 ②SNSを活用して、一般市民が参加できるイベントや展示会等を行う。8月夏休み子ども企画イベント10月鉄道記念日企画イベント12月年末（お正月飾り等の準備）企画イベント1月正月飾り・お鏡割企画イベント その他、適宜のイベントや他団体とのコラボ企画イベント等を開催する。 ③同好会会員、ボランティア仲間との交流を深め、SLの保存維持方法を学ぶための研修として、県外・他市地域の静態保存されている「SL保存会」の皆さんとの交流会や研修会を適宜行う。